

G I D に初の認定医

人材育成、保険適用目指す

G I D (性同一性障害)

学会は20日、東京都内で開いた総会で、心と体の性が一致しない人たちに適切な医療を提供する「認定医」9人を初めて決定したと発表した。今後も人材育成を進め、性別適合手術などに対する公的医療保険の適用につなげる考えだ。

理事長を務める中塚幹也

・岡山大教授をはじめ、同学会の理事らから精神神経

G I D 学会の認定医

阿部輝夫・あべメンタルクリニック(千葉県浦安市)▷石原理・埼玉医大産婦人科(埼玉県毛呂山町)▷内島豊・赤心クリニック(埼玉県川越市)▷織田裕行・関西医大滝井病院(大阪府守口市)▷康純・大阪医大神経精神医学教室(大阪府高槻市)▷中塚幹也・岡山大病院ジェンダークリニック(岡山市)▷針間克己・はりまメンタルクリニック(東京都千代田区)▷松本洋輔・岡山大病院精神科神経科(岡山市)▷百沢明・山梨大病院形成外科(山梨県中央市)

科、産婦人科、泌尿器科、形成外科を専門とする9人を選んだ。研修を受けるほか、診療や研究で一定以上の実績があることを条件にした。今後は5年で50人程度の

認定医を育て、専門的な医療を提供できる施設を各地に増やす。これを基盤に、現在は全額が自己負担となつている手術やホルモン療法の保険適用を実現させたという。

国内にはG I D 診療の拠点となる施設が少なく、保険も適用外のため、費用が安いとされるタイなどに渡航して手術を受ける人もいる。ただ手術後の対応をめぐるトラブルも起きており、国内の体制整備が求められている。